



# 千夏の おくりもの

監督 佐藤晴夫

## 人権教育啓発ドラマ

(平成17年度ストーリー公募作品より)

企画・製作／大阪府教育委員会  
製作協力／(財)大阪府人権協会  
制作／東映株式会社



■出演協力  
大阪府民  
の皆さん



三島ゆり子



前田 航基  
西本 利久

■キャスト

原田 龍二

千堂あきほ

西本 利久

前田 航基

三島ゆり子

■出演協力

大阪府民

の皆さん

この作品についてのお問い合わせは下記へ

## 大阪府教育委員会 地域教育振興課

〒540-8571 大阪市中央区大手前2 電話06-6941-0351 内線(3465)

ホームページアドレス

<http://www.pref.osaka.jp/kyoicityoson/chiikikyokushinko/index.html>

※このチラシは、5,000部作成し、一部あたりの単価は10円です。



# 平成17年度人権教育啓発映画「千夏のおくりもの」利用のてびき

## 製作のねらい

子どもの率直な疑問をきっかけに、日常生活のさまざまな出来事に潜んでいる、おとな自らが無意識のうちに持っている「世間の常識」や「偏見」を問い直すことにより、改めて子どもや女性の人権問題についての正しい理解を深める。

## 話し合いのポイント

- 「ご主人」「奥さん」という言葉がもつ意味について考えよう。
- 「女は女らしく、家で子どもを育てるんが仕事ちゃうんか」と言った青果物店のおじさんの気持ちについて考えよう。
- 「男やったらなんであかんの?」「〇〇らしくってなに?」「なんで武くんのおとうさん、武くんをたたくの?武くんのこと嫌いなん?」などの千夏の疑問について考えよう。

## あらすじ

千夏は、父親の徹が勤める保育園に通っている好奇心いっぱいの女の子。大学講師である母親の瑠璃は、研究に熱中し、千夏の世話があまりできていない。

突然、遠くの大学への転勤の話が瑠璃に持ち上がったが、6年前、育児不安の中、徹の協力で復職できたということから即答できない。今も、千夏に関わってやれない心苦しさと、「世間の常識」や「偏見」の重圧が瑠璃を苦しめていたのだ。

ある日、保育園で千夏の友だちの武が、同級生にケガをさせてしまう。武は母親が迎えに来て、父親の稔が暴力をふるう家に帰ろうとしない。

翌日、登園しない武を心配した徹と千夏は家を訪問するが、稔と言い争いになってしまう。帰宅した徹は、瑠璃に武の家の状況の話したが、瑠璃から「私もそうやった」と言いかえされ、「いい母親」という「世間の常識」の重圧からまだ解放されていないことに気づき、不安になる。

“いい母親”になるために、転勤の話を通じた瑠璃に、徹は「瑠璃が本当に気にしているのは、千夏や俺のことではなく、『世間』からの評価なのか?!」と問いかける。

稔の経営する工務店が倒産したため、引っ越すことになった武に徹と千夏は会いに行く。

徹は稔の「まじめに努力してもうまくいかない」という発言などから本人の苦しさを知るが、同時に人の弱さを受容できない自分の“固定観念”に気づく。その“固定観念”のために、瑠璃も苦しめられていたのだ。

おとなたちの言い争いの間に、千夏と武は、『幸せの花』を見つけるためにその場から去る。その二人を徹や稔たちは懸命に探す。公園の花壇をじっと見ている千夏と武。『幸せの花』は枯れてしまっていた。そこへ駆けつける徹たち。

千夏は『『幸せの花』、咲いてないねん、お母さんとお父さんにあげたかったんや』とつぶやく。

瑠璃は、「もう、いっぱいもらったよ。千夏、ありがとう!」と千夏を強く抱きしめた。

瑠璃、徹、千夏、武一家を包むように、暖かい思いやりの風が吹いている。



## 参考

# 分け合う

◎子育てを分け合ってみると◎

## エピソードの概略

育児休業をとった「礼二先生」が、三学期に学校に帰ってきたとき、子どもたちから「先生はええなあ、毎日赤ちゃんと遊んでいたんやろ」「うちのお母ちゃんが、あんたら先生は変わってるわ。男やのに仕事休んで赤ちゃんの世話してるなんて言うてた」と、はやされます。それを受け止めて、先生自身が休業中に感じたことを子どもたちに返していくというエピソードです。

子どもを持たない人も、子育て中の人も、子育てが一段落した人も比較的活発に意見交換できる素材です。対話する際に、たとえ世代が違っていても、互いの経験を出し合うことができます。それは、男性が育児休業を取るという、現在ではまだ少数の例の持つ力だと言えるかも知れません。

## 対話のために

- あなたは礼二先生をどう思いますか。「変わっている?」「偉い?」それとも…?
- あなたの子育てについて、子どもに尋ねられたらどんなふうに答えますか?

大阪府教育委員会 人権学習教材「動詞からひろがる人権学習」(平成17年3月)より

※ この教材の詳細は、大阪府教育委員会地域教育振興課のホームページにてご覧いただけます。

<http://www.pref.osaka.jp/kyoisityoson/chiikikyoikushinko/>